

A Letter from  
Sam



# 留学生だより

サム・ベツサイさん

サム・ベツサイさん

九州大学 大学院 在学中



来日するまでの間、新しい人生の旅路のために自分自身の準備をしたいと考えていました。その目的は、日本とカナダの違いを見つけていくこと、そうすれば自分が来日した時に大きなカルチャーショックを受けることがないと思ったからです。その努力の甲斐もなく、たくさんのカルチャーショックを感じました(笑)。日本とカナダで最も大きな違いを感じたのが、社会的なエチケットです。日本は、上下関係、敬意や礼儀をととても重んじている国だと思います。それらは日本人の振る舞いや言語に表れていて、電話をしながらでもお辞儀をしていることに気づき、とても一般的な習慣であることを知りました。

多くの日本人と話をし、カナダと日本の労働文化に大きな違いがあることも分かりました。日本人の労働文化は長時間労働、会社への献身とチームワークが重視されます。残業は「過労死」につながるものとして、日本でとても大きな問題として知られています。一方、カナダでは個々の成果が重視され、就業時間を決めて働く、ワークライフバランスが優先されます。

もう一つの大きな違いは、教育に大きな力を入れていることです。数年前にある本で、日本は国民一人当たりに対するエンジニアや科学者の割合が最も多い国の一つである、というとても面白い事実を知りました。この本の著者は『第二次世界大戦後の数十年間に、どうやって日本は他に類のない技術的進歩、経済的繁栄、インフラ整備、卓越した教育、そして世界的な貿易強国へと飛躍したのだろうか?』ということに思いを巡らせていました。

興味を持った著者は、日本の急成長の理由を調べようと日本の変革を見てきた人々の知恵を借りることにした。その中である年輩の女性たちの「私たちは、次世代に引き継ぐ未来の聖火ランナーとしての重責を担っていると感じ、子供たちに最高の教育を提供し続けることに打ち込んできた。」という言葉が深く印象に残りました。

この奥深い言葉には、戦後に残された日本の戦略的ビジョンが詰まっています。それは、若者たちを日本の未来を創る建築家として認識し、彼らの心を育成するという揺るぎない献身の現れです。戦後の焼け野原から世界の突出した頂点に昇りつめた日本は、先見の明と教育による変革の力を物語っています。

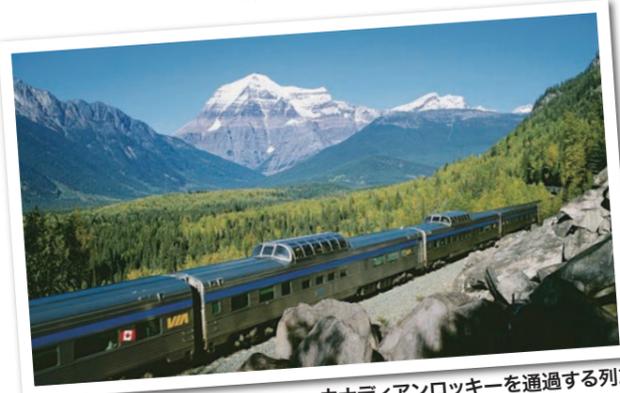
最後の大きな違いは、公共交通機関です。カナダは世界第二の大国ですが、人口は東京都と同じくらいです。人口が少ないため、カナダは公共交通機関への巨額な投資を行っていません。鉄道にはほぼ頼らず、どこへ行くにもほとんどのカナダ人は車で移動します。



トロントの日常の交通渋滞風景

その一方で、日本は世界で最も効率的で時間に正確な公共交通システムを誇っています。実際に東京の鉄道システムは、粘菌の驚くべき動きからヒントを得ています。まるで粘菌が効率的に様々な栄養素を求めてつながるように、東京の鉄道システムは分散型のネットワーク・アプローチを採用しています。それは、複数の路線がシームレスにつながり、通勤・通学客に柔軟で効率的な交通手段を提供しています。これは、信じられないほど革新的で、まさに独自のものです。

このようにカナダと日本は違いがあっても、顕著な共通点もあります。両国共に、豊かな文化遺産を大切に、変革を受け入れ、敬意やコミュニティ、環境保護の価値観を共有しています。これらの共通点は、多様でありながら相互につながっていて、この2つの社会が永続的な絆で結ばれていることの証となっています。



カナディアンロッキーを通過する列車



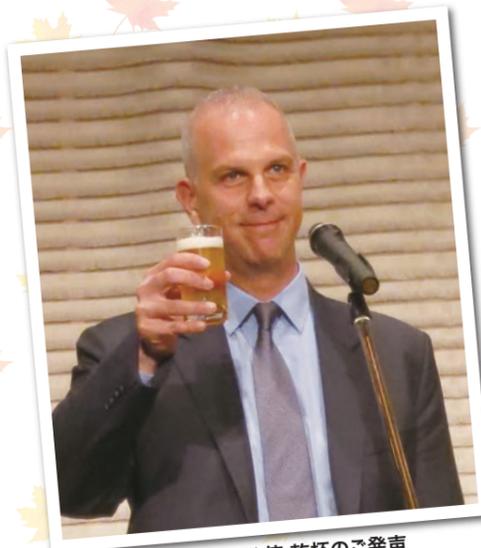
日本の伝統的な田舎での歓迎風景

# メイプル通信 Maple NEWSLETTER

福岡カナダ協会広報誌

Fukuoka  
Canada  
Society

Vol.57



ルイ・ピエール・エモン公使 乾杯のご発声



瓜生会長 挨拶



賈名誉領事 挨拶



総会の様子

福岡カナダ協会  
理事会・総会・懇親会を開催しました

2024年5月29日(水)  
グランドハイアット福岡



懇親会の様子



5月29日(水)、グランドハイアット福岡にて、2024年度理事会・総会・懇親会を開催いたしました。

総会では、瓜生会長が議長を務め2023年度事業報告・収支決算報告、2024年度事業計画・収支予算及び役員を選任について審議を行い、すべて原案通り可決・承認されました。

その後の懇親会には、総勢62名の方にご参加いただきました。

懇親会は、瓜生会長・貫名誉領事の挨拶、続いて在日カナダ大使館のルイ・ピエール・エモン公使から、来賓ご挨拶と乾杯のご発声を頂戴し始めました。

ルイ・ピエール・エモン公使は、「20年ぶりに福岡を訪れ、福岡カナダ協会の皆様にお会いでき、とてもうれしく思います。今年、日本とカナダは外交樹立95周年を迎え、5年後の100周年に向けますます関係を強化していくためにも、2国間の架け橋になっていただく皆様は大変重要です」とご挨拶をいただきました。

カナダ人留学生のサム・ベッサイさんには自己紹介と日本での体験について、楽しいエピソードを交えて、スピーチをしていただきました。

また、立命館アジア太平洋大学のカナダ協会様より、当協会に対し、寄付金を贈呈いただきました。

カナダ産ワインや美味しい料理を囲み、カナダ気分を味わいながら、和やかな雰囲気の中、会員同士の親睦を深め、盛会のうちに懇親会を閉会しました。



●新規会員のご紹介

今回の理事会にて、以下の方々の入会が承認されましたので、ご紹介します。

- |      |                    |      |         |
|------|--------------------|------|---------|
| 法人会員 | 株式会社ハチヨンラボ 様       | 個人会員 | 吉田 泰美 様 |
|      | 株式会社九電送配サービス 様     |      |         |
|      | 九州高圧コンクリート工業株式会社 様 |      |         |

ルイ・ピエール・エモン在日カナダ大使館公使のご挨拶

本日は福岡カナダ協会の総会と懇親会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

私は昨年の夏に東京のカナダ大使館の公使に就任しましたが、日本に赴任するのは、今回が実は3度目になります。以前にも東京の大使館と名古屋の領事館で勤務したことがあり、20年前に一度福岡を訪れたことがあります。本日久しぶりに福岡を訪れることができ、福岡カナダ協会の皆様にお会いでき、とてもうれしく思います。

カナダと九州のビジネス関係については、ここ数年で貿易や投資の交流がますます深まってきています。伝統的なカナダ産の食品や水産物、建材などの輸入に加え、最近ではカナダの



在日カナダ大使館との面談後の様子  
左から瓜生会長、ルイ・ピエール・エモン公使、エリン・ダヴィッド参事官、貫名誉領事

AI技術を駆使したオンデマンド・バスサービスが福岡市のアイランドシティなどで展開されたり、カナダのVR企業がここ福岡の地で活躍しています。

今年、日本とカナダは外交樹立95周年を迎えました。5年後の100周年に向けますます関係を強化していくためにも、二国間の架け橋になっていただく皆様は大変重要です。

日本とカナダの結びつきがますます発展していくことを祈っております。



ルイ・ピエール・エモン公使

第11回 カナダ訪問団

日時：2024年9月4日(水)～9月12日(木)〈7泊9日〉

訪問地：バンクーバー、バンフ、シアトル

当協会ではカナダと日本の友好親善と経済・文化面の交流促進を目的として、カナダ訪問団を派遣しております。2年振りとなる第11回目の今年は、カナダ西部の都市バンクーバー、バンフ、そしてアメリカ・シアトルへの訪問を予定しています。

カナディアンロッキーの美しい風景を楽しめることで有名なバンフでの観光の他、現地企業との意見交換など、充実したプログラムを予定しております。訪問団の報告は、次回のメイプル通信にて行う予定です。みなさま、お楽しみに！



カナディアンロッキーで有名なバンフ

寄付金を贈呈いただきました！

立命館アジア太平洋大学にあるカナダ協会から当協会へ寄付金が贈呈されました。

2018年に設立されたカナダ協会は、当協会会員の大山様が学生時代に立ち上げられ、初代会長を務められていましたが、残念ながら2024年3月に閉会しました。その際残金を当協会の活動に役立てて欲しいとのことから今回ご寄付いただいたものです。ありがとうございます。

今後の活動に役立ててまいります！



贈呈式の様子：右から瓜生会長、当協会会員の大山様

会員募集

福岡カナダ協会では会員を募集しています。お知り合いにカナダにご興味のある方、カナダへの留学・滞在経験者の方、福岡在住のカナダ人の方がいらっしゃいましたらご紹介ください。